



令和5年(2023年)1月10日発行

1-3...新春特集「もっとワクワクのあるまちへ」  
4-6...新春特別企画「名張市民の夢」「名張市長の夢」  
7...老人クラブ 8-9...市県民税申告 10-11...市立病院だより

謹賀新年 今年の一文字は「起」と「発」 詳しくはP7で

発行/名張市 秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎ 0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉ pr@city.nabari.mie.jp



名張の野菜を特産品に  
**タネ菜**

**冬**場の野菜として名張で作られてきた  
伝統野菜「タネ菜」。苦みなどのく  
せが無く、シャキシャキとした歯ごた  
えが特徴。栽培する人がほとんどい  
なくなっていたこの野菜に復活の兆しが！



タネ菜調理  
方法など  
(市HP)

もっと

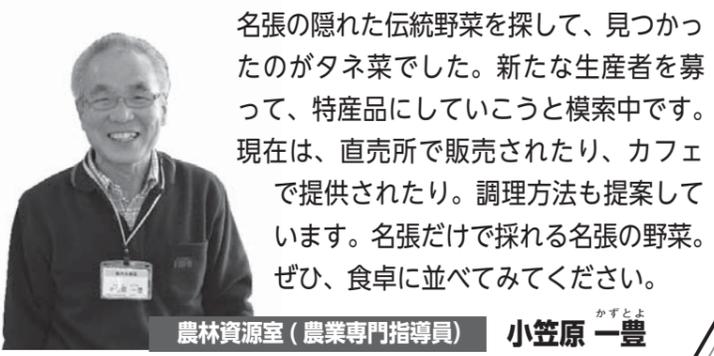
新春特集

## ワクワク のあるまちへ

**タネ菜生産者 福廣 博敏 さん**  
タネ菜は、日持ちがせず、流通が難しいのですが、  
名張の伝統野菜を絶えさせないため、大切に守り続けてきまし  
た。寒い時期に旬を迎えるため、無農薬で育てやすい。クセが  
無いので「野菜嫌いな子どもでも食べやすい」と好評です。



悠久の歴史があって、文化が息づき、自然が豊か——。数ある名張の魅  
力をみんなで一つひとつ磨いていけば、「住んでよし」「訪れてよし”  
”招いてよし”の、もっとワクワクするまちになっていくはず！



名張の隠れた伝統野菜を探して、見つかった  
のがタネ菜でした。新たな生産者を募  
って、特産品にしていこうと模索中です。  
現在は、直売所で販売されたり、カフェ  
で提供されたり。調理方法も提案して  
います。名張だけで採れる名張の野菜。  
ぜひ、食卓に並べてみてください。

農林資源室(農業専門指導員) **小笠原 一豊**



冬の新たな風物詩  
**竹あかり  
ロード**

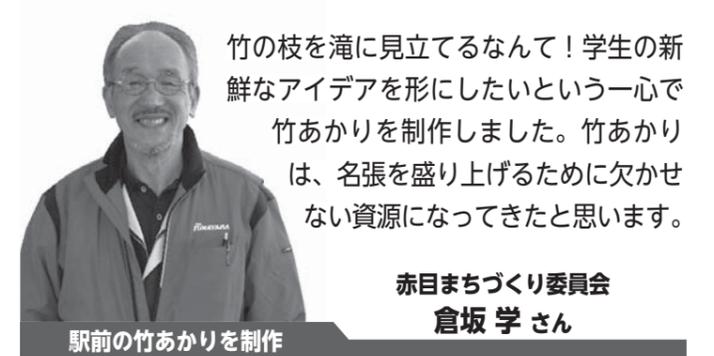


**赤**目口駅や店舗、民家など、赤目滝へ続く要所を約200本もの竹あ  
かりで照らし出す「竹あかりロード」が12月に初登場。地元の皆  
さんや高校生の力で「竹あかり」が名張の冬の風物詩として広がりを見せています。

私がデザインした竹あかりを、地域の皆  
さんが形にしてくれてすごく嬉しい！滝  
や赤目口駅、民家に竹あかりが灯る  
ようになりましたが、名張全体に  
広がればもっと盛り上がるはず！



名張高校 **後藤 花凜 さん**  
駅前の竹あかりをデザイン



竹の枝を滝に見立てるなんて！学生の新鮮なアイデアを形にしたいという一心で  
竹あかりを制作しました。竹あかり  
は、名張を盛り上げるために欠かせ  
ない資源になってきたと思います。

赤目まちづくり委員会  
**倉坂 学 さん**

駅前の竹あかりを制作



赤目口駅前に高校生がデザインした竹あかりを設置



赤目まちづ  
くり委員会